

3205

鳥栖・三神

ようこそ“先生” サガン選手来校



生徒の質問に英語で答えるフェルナンド・トーレス選手(左)とニノ・ガロウィッチ選手＝基山町の東明館高

基山町
佐賀市

興味津々に聞き入った。

東明館高にはフェルナンド・トーレス選手や福田晃斗選手ら8人が訪れた。選手たちは2人ずつの4班に分かれて1年生のクラスを訪れ、生徒たちの質問に答えた。このうち、ピクトル・イバルボ選手と原川力選手が訪れたクラスでは、生徒たちが両選手の個人チャント(応援歌)で歓迎し、両選手は照れたような笑顔を見せた。

トーレス選手とニノ・ガロウィッチ選手は、英語を中心に学ぶグローバル・スタディーコースを担当。生徒は、サッカーを始めたきっかけや日本に来て驚いたことなどを英語で質問し、両選手も英語で答えた。トーレス選手に憧れていたという隆原崇一郎さん(16)は「どの選手もいろんな失敗をして成長したことが分かった」と話していた。

3高校 トーレス選手ら教壇に

龍谷高にも高橋秀人選手、金崎夢生選手ら8人が訪問した。廊下を歩いていると、生徒たちから悲鳴にも似た大歓声を受けた。教員免許を持つという高橋選手は「ピンチこそチャンス。乗り越えれば人として成長できる。受験や就活を頑張ってメールを送った。

金崎選手は学校で毎年クラス替えがあることに触れつつ、「チームにいる選手も毎年入れ替わる。今年しかないこのメンバーでタイトルを取りたい」と決意表明。生徒代表の倉富祐人さん(16)が「サガン鳥栖が勝つことを信じて応援し続けます」と誓った。

6日には、高志館高に豊田陽平選手、小林祐三選手、イサック・クエンカ選手ら7人が訪れた。

(瀬戸健太郎、田原一郎)